

兵庫県におけるアカモンコナミシャクの記録

宇野宏樹

アカモンコナミシャク *Palpoctenidia phoenicosoma* は、北海道・本州・伊豆大島・四国・九州・台湾・中国・インド北部に分布することが知られているシャクガの1種である(中島・矢崎, 2011)。筆者は、本種を記録が少ないと思われる兵庫県で撮影したので報告しておきたい。

【撮影データ】1ex. (図1・図2), 兵庫県西宮市 JR福知山線 廃線敷ハイキングコース付近. 10. IV. 2023 筆者撮影

日中、植物体の葉に静止していた個体を撮影した。その写真を、図1・図2に示す。

携帯電話のカメラで撮影したため、画質が良くないが、日本産蛾類標準図鑑1の解説にある「前翅の外横線と内横線の間は橙黄色で、中央部はやや濃色となり紫色を帯びる」という記述を参考にしたところ、本種と同定できた。なお、同定の根拠とした形質の一部を図2に示しておく。また、筆者は別の日に宝塚市でも本種を撮影したので、併せて報告しておきたい。

【撮影データ】1ex. (図3), 兵庫県宝塚市切畑長尾山 大林寺. 13. IV. 2023. 筆者撮影.

宝塚市産の個体は、日中、建築物の壁に静止していた個体である。

○参考文献

中島秀雄・矢崎克己, 2011. ナミシャク亜科. 岸田泰則(編), 日本産蛾類標準図鑑 1: 248-316. 学研教育出版. 東京.

(Hiroki UNO 兵庫県宝塚市)



図3 兵庫県宝塚市産アカモンコナミシャク.

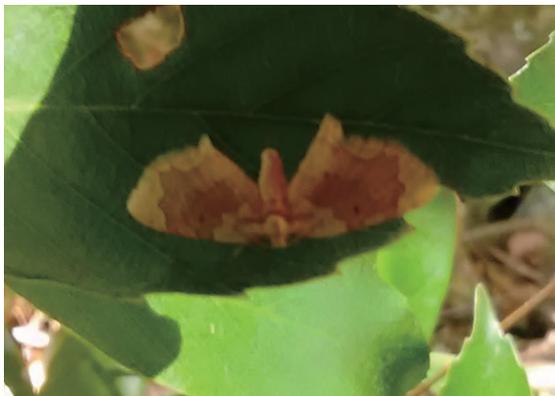


図1 兵庫県西宮市産アカモンコナミシャク.



図2 同定の根拠とした形質の一部を図示したもの.